

科学？

あなたなら

読書？ どちらの秋？

皆さん、秋と言えば何を思い浮かべますか？食欲、芸術それとも読書の秋？はたまた科学？

市では読書や科学を通じて論理的思考と好奇心を育て、未来を切り拓いていく人材を育てる取り組みを行っています。今回の特集では読書と科学を身近に感じてもらうようと、自然科学研究機構・核融合科学研究所の先生と市図書館の司書さんにお話を伺いました。



「ブック&サイエンスフェス2022」

読書と科学がコラボしたイベント「ブック&サイエンスフェス2022」を11月6日に開催します。ワクワクドキドキの企画がいっぱい。イベントに参加して、読書の秋、科学の秋を満喫してみませんか。イベントの詳細は本紙10月号の折り込みのチラシでお知らせする予定です。

問 生涯学習課（内線358）



私はあまり本を読まなくて、「本を読むといいよ」って言われるけど、どうしたら好きになるのかなあ？



教えて司書さん



市図書館
足立 美奈子 司書

「本を読まなきゃ」って思うと好きになるのはなんだか難しいよね。科学の先生が言っていたように、不思議だと思って思ったことや、興味があることが書かれた本をまずは手に取ってみたいらどうだろう。

図書館にはいろいろな本があります。絵本や漫画や雑誌など、イラストや写真が中心の本もあれば、長編の小説や実際にあったことを記録した資料などもたくさんあります。どんな本が自分に合うか探してみるのも面白いですね。どんな本が自分に合うかわからなかったら、私たち司書と一緒に探してお手伝いをするので、聞きに来てください。

これから先、いろんな本を読む機会があります。そんな時に少しでも本を身近に感じられたら、きっと楽しいはず。あせらずに、好きと思えるものから読み始め、本に親しんでいくってくれたらうれしいです。



本を読むのを途中でやめてしまうんだけど、どうしたら最後まで読めるの？

思い切って、いつもと違う読み方をしてみは？

① 結論(最後)から読んでみる

例えばミステリー小説。犯人を最初に確かめてから読んで大丈夫。その方が楽しく安心して読めるという人もいますよ。

② パラパラ読みをしてみる

目次や挿絵を見て面白そうなところから読んでみるのも良いかも。少し飽きてしまったなと思ったら、その部分を飛ばして読んで大丈夫。

③ 同じ作者の本を読んでみる

この本好きだな...と思った本があったのなら、同じ作者の他の作品も読んでみると自分の好みに気付けるかも。

④ 自分に合わないなと思ったら...いっそ読むのをやめてみる

好みは人それぞれです。読んでいる本が自分に合わないなと思ったら、勇気をもってやめてみましょう。そして次の本を探してみよう。自分がどんな本が好きかわかってくるかも。



楽しく読めるおすすめの本を教えてください。



「伝統工芸のきほん1 焼きもの」

土岐市の名産品と言えば「美濃焼」だけど、日本全国にはさまざまな焼きものがあります。各地で愛されている焼きものの原料や作り方などの特徴を写真と一緒にやさしく紹介しています。

伝統工芸のきほん
編集室編(理論社)



アレクサンドラ ミジェリンスカ&ダニエル ミジェリンスキ作絵 (徳間書店)

「アンダーアース・アンダーウォーター地中・水中図絵」

地球の中をどんどん掘って、潜って行ったらなにがある!? 身近な暮らしにつながる豆知識から想像もつかない未知の世界まで、楽しく解説している大きな一冊。裏表それぞれから読んでみよう!



子ども司書講座を開催しました

司書の仕事や本のことをもっと知ってもらうために、子ども司書講座を開催しました。子どもたちには、図書館にまつわるクイズや本のつくりを学んでもらいました。



土岐津小学校6年
木村有衣香さん 工藤夕依さん

図書館にはたくさんの種類の本があって、分類や整理の仕方を教えてもらいました。

私たちのおすすめの本の紹介(ポップ)も作ったので、図書館で見てください。

教えて博士



みんな、夏休みの作品は何を作ったのかな。今年も科学作品展があったの。どれも素晴らしい作品ばかりじゃったなあ。科学って言うと、なんだかむつかしそうで面白くないけど、今日は、私の友だちの先生に科学の面白さについて話してもらおうかな。



核融合科学研究所
庄司 主 先生

私は子どもの頃、乗り物などの動くものが好きで、よくプラモデルを組み立てたり、工作をしたりしていました。また、アニメや漫画も好きで、「マジンガーZ」や「宇宙戦艦ヤマト」「サンダーバード」など、乗り物に乗って悪いやつらをやっつけたり、地球を救ったりする話に憧れを抱いていました。その乗り物はどんな仕組みで動いているのだろうと考えるのがワクワクしたのを覚えています。

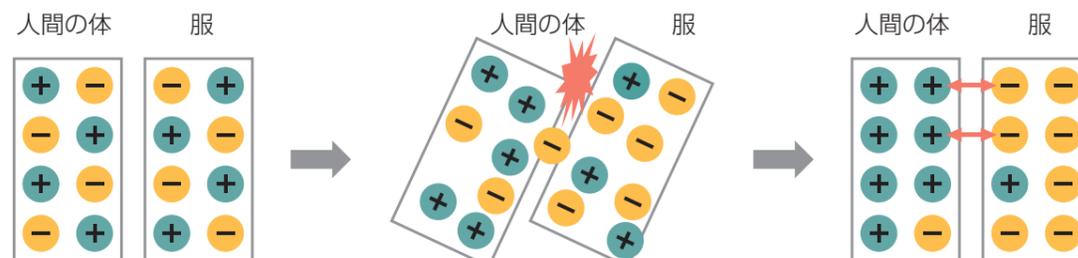
私たちの生活にはいろいろな現象が起こっています。普段の何気ないことでも立ち止まって「なぜだろう?」と考えてみると面白いと思います。実はそれが「科学の芽」なのです。次に、どうしてそうなるのかをじっくりと考えてみてほしい。いろんなことを試したり、調べたりしていくうちに、きっと科学の魅力に引き込まれていきます。これが「科学の茎」です。そして、いろいろな考えの後に、自分の中で結論が出た時なんとも言えないうれしさが味わえると思います。これが「科学の花」です。



身近に感じる科学をみんなに紹介してくれんか。

人生、一度は経験する静電気の話

人間の体を含め、どんな物でも全てプラスとマイナスの電気を持っています。通常はプラスとマイナスのバランスが釣り合った状態になっています。



①例えば人間の体と服で考えてみよう。通常はこの状態。
+と-のバランスがいいね。

②摩擦によって-が移動して、バランスが崩れるんだ。

③+と-のバランスが崩れた状態が「静電気」の前触れだよ。この状態で服を脱ごうとすると、+と-の電気がくっつく。この時に起きるのが、みんなの嫌な静電気のバチバチ。電気たちが元の状態に戻ろうとする時に起きるんだよ。

電子レンジで氷は溶けない!?



電子レンジは目に見えない電磁波(マイクロ波)を出す装置です。電子レンジのマイクロ波は強力な電磁波で水分子(H₂O)を振動させることができます。料理の中にはたくさんの水分子が含まれていて、その水分子が振動して熱が発生し料理を温めています。ただし、がっちり固まっている氷は電子レンジに入れても(実験は1000Wで1分加熱)溶けません。これは、料理などに含まれている水は液体なので、水分子がフラフラ動けるのに対し、氷は固体で水分子はしっかりつながっているため、振動しにくいから溶けにくいのです。

※氷の状態や外気の温度によっては溶ける場合があります。

電子レンジで何か光っているよ。ブック&サイエンスフェス2022で実験をするから見に来てね!



核融合科学研究所には図書室があるんじゃないか。むつかしそうな本じゃなく、わかりやすく面白い本もあるぞ。



私はヘリカ。私もいつも借りている。この図書室には科学に関する図書がなんと、7万冊あるの。わからないことがあって質問すると、研究所の先生が教えてくれるよ。

詳しくは核融合科学研究所図書室のホームページで

